

パンデミックドリルに関する自由記述式アンケート結果
日本医科大学看護学校3年生に対して実施

1：机上で学ぶよりも実際に体験することで得られることの方がとても大きいです。
そのため今日はとてもよい体験学びができました。
ありがとうございました。

2：症状に対する治療まで行えると良かったと思う。
例えば呼吸苦のときには聴診が必要とか、発熱の時は体温を測って観察する等・・・
病棟が混乱する様子は実感できた。
手指衛生はもっと気をつけて、普段から行いたい。

3：テレビとかでみたことはあるけど、実際の現場では、一瞬一瞬の判断がとても重要であることがわかった。この演習を行ってとてもよかった。

4：実際にやってみて、はじめはパニックだったけど、2回めにやったら、声かけや、自分の役割に気を付けて行うことで、協力して出来た。
感染予防は、意外と難しかった。1つ1つていねいに説明してくれたのでわかりやすかった。普段流してしまいそうなところも、注意してできたのでよかった。

5：実際に行うことで（演習）知っていると思っていたけれど、実はよく理解していなかったことや、知っているだけで実行をしていないことに気付きました。
手指やアルコールでの消毒は実行しなければ全く無意味であるため、意識して行っていきたいと改めて思いました。

6：実際の現場の状況を理解して、処置を行うことが難しかった。優先順位、チームワークが大切で、声を出して指示だすことが大切だと改めて理解できた。

7：今回行ってみて、実際の現場はもっと混乱した状態だと思い、このような場で自分のすべきことを学ぶことができるととても良かったです。
今回行ったことを実際でも行えるように、活かせるようにしたいと感じました。

8：演習することで少しでも実際のイメージができ、よかったと思います。

チームワーク、声かけ、リーダーシップ、コミュニケーションの重要性を学ぶことができました。ありがとうございました。

9：いつ起きてもおかしくないため、このような機会はとても良いと思った。

10：パンデミックを想定して行った演習では、その混乱やいつも通りには判断し行動することが難しいと体感し、良い経験できました。

11：楽しく感染予防について学べた。

また、感染のことだけではなくてチームワークやリーダーシップなど役割の大切さも学べてよかった。

12：臨じょう感のある演習だった。

これが実際に起こった現場だとしたら、もっと緊迫した雰囲気、適格な判断が必要になるのだなと感じた。

13：初めてたくさんのPtがいて、その中で優先順位を付けたり、チームワークで限られた時間の中で進めていき、一人一人の能力の重要性や、スタッフが一人欠けることで他のスタッフに負荷になること、また資源がない中で協力することを学んだ。今は演習だけど、現場ではあたふたしてしまいそう。

14：チームで活動することの重要性を学ぶことができた。

また声をかけ合うことで作業効率が上がることを理解できた。

15：チーム医療の必要性を学ぶことができた。

ガウンテクニックやエプロンの着脱の正しい方法を確認することができた。手洗いでは自分の洗い残しやすい部位を確認することができたので、今後の手洗いで留意して実践していきたい。

16：感染予防することは、大切だと思いました。医療側も感染しないようにマスクなどをして、感染を防がなければならないと思いました。

17：改めて感染防御の必要性を感じる事ができた。

18：正しい感染防御技術や動き方を体で体験することで、イメージがつかめました。また、記憶に残るような印象的な演習だったので、忘れず覚えていたいと思います。大変勉強になりました。貴重な授業、ありがとうございました。

19：すごくよかった。わかりやすかった。実際にやることで、大切さやいろんなことに気づけると思います。感染は自分自身で防げる病気なので、非常にこういうことを知ることは大切なことだと思います。

20：看護師以外の職種（医師や助手）を体験することで、役割も医師にしかできないのもあり、看護師に声をかけてもらおうとすぐに対応できたので、協力は大切だと思った。今回は医師役を体験し、重要な役割を担っているが、看護師の存在が大きいと思った。

21：感染は怖いと思うけれど、自分たちで予防することができるので、実習中や就職後に役立たせて、自分と患者さんの間で感染を防げるように、していきたい。

22：実際にやってみることで現場では、もっと大変だということを感じ、チームワークの大切さや、そのために自分がどうすべきかなど考えることができ、たくさんの気づきの中で、演習をすることができました。今後も活かせるような演習だったので忘れず実施していきたいです。

23：実際に現場を想定して動くなかでコミュニケーションが重要である事、資源が有限である事、患者の優先度、業務の範囲など、考えることが沢山あり、リーダー性が求められる事も理解できました。

手洗い、手指消毒は実習中も毎日行っているの、消毒効果の確認など行えて良かったです。

24：いざという時に自分がどう動いたら良いのか演習をすることによって、イメージすることができた。他職種と連携をとって、役割を決めることでスムーズにすすめることができると思った。感染に対する意識を高めることができた。

25：普段実習で気を付けていることでも実際演習を通してやってみると意外と手洗いには見落としている部分もあるんだなということを思いました。また、医療はチームで行っていくものなのでNs間だけの連携だけでなくDrや助手さんなど他職種との連携がとても大切だと感じました。

26：行って見て、パンデミック時のイメージが付き、とても良かったと思います。また、実習中に何かあった時でも、どのように対応すべきかわかりました。

27：感染予防が重要だということが改めて感じました。演習で、声かけや判断・コミュ

ニケーションが大切だということが実感しました。チーム医療ってこんな感じなんだ、ということ少し理解しました。楽しかったです。

28：医療チーム内での役割の把握をしっかりとこない、コミュニケーション（情報交換）をしっかりとこなうことで、効率よく患者様の救命にあたることを改めて学ぶことができた。また、全体をとらえるリーダーの重要性を学ぶことができた。

29：初めてこのような経験をして、特に演習はいざという時のイメージづくりに非常に役立つものだと思います。現に今、アシネトバクターやバンコマイシンなど院内感染に関するニュースが多く報道されている中、実際にその場面に遭遇した場合、自分がどのように動かなければいけないのかということイメージさせて頂けたことはとても貴重な体験になったと思います。

また、感染防御技術も実際に普段行わなければならないことを改めて行わせていただくことで、自分の日々のでき不出来を見なおす良い機会になり、よかったです。

30：大変でしたが、本当の現場ならもっと落ち着いてできないと思う。今回、体験できてすごくよかったです。

31：一回目より2回目と、反省を生かし効率よく動くことができました。経験することの大切さをとても感じました。

32：実際に行うことで、座学で学ぶよりも分かりやすかった。重要性や大切さ理解できた。イメージしにくかったことが、実際演習してみてよく理解できた。これからも今日学んだことを活かして感染防御したい。

33：今日、実際にパンデミックドリルを行ってみて、感染について考えさせられ、実際に何かあったとき、どのように動くのかイメージがつかしました。現場のチームワークやリーダーシップなど自分達の役割をきちんと理解しなければならぬと感じることができました。

34：今日の演習で学んだ事を実習にも生かしていきたいです。また、チームワークや職種の役割分担の必要性も学ぶことができました。ガウンテクニックではあやふやだった事も学ぶことができたので今後にかかしていきたい。

35：授業で習っていても、実際は忘れてしまっていたので、思い出すいい機会になりました。またエプロンやマスク・手袋・手指消毒は実習でもおこなっているので、正しい方法を理解することができて良かったです。

36：チームで協力すること、声をかけること、リーダーシップの重要性、など、実際に体験しないと感ずることや気付くことのできない貴重な経験をすることができました。今後、起こりうることであると思うので、今回の演習を積極的に取り入れ、実際に起きたときには、しっかりと対応できるようにしておくことが必要だと思いました。演習では、どのチームがどれくらい対応できたのかと目で見えるようにした方が良かった。

37：演習を行うことでイメージがよくなった。事前にこうした演習を行うことで、実際におこった時もスムーズな対応ができると思う。感染防御技術も、授業でやったことを、今、こうして復習ができてよかった。今日、学んだことを今後も生かしていきたい。

38：体育館の演習では連携の大切さ、自分の役割を理解し、優先順位に基づいて行動することの重要性を学ぶことができた。患者の症状に対して、同じカードをもってくるのではなく、その症状に対する治療のカードを持ってくる、という形にするともっと深く学べるのかな、と感じました。呼吸苦だったら聴診器—など。感染防御技術では、今まで学校でも体験したことがあったが、再度やることで知識にすることができた。N95を実際に体験できたのがすごくよかったです。

39：点数化して競わせた方ががんばれると思います。病床回転率、死亡患者数、退院者数など難しいと思いますが。マンパワーも必要。結果も出ますし。感染予防しているのであれば、医療従事者が感染しないケースもあってもいいと思います。ICU受け入れの基準があいまいで、病棟待機が増える。医師の診察を先に回すと効率上がるなど、ゲームとしての効率を考えてしまう。

40：チームワークの大切さや、自分の役割遂行の大切さを学ぶことが出来ました。

41：感染予防の必要性やチームワークの大切さについて学ぶことが出来ました。今後活かしていきたいです。

42：臨床をイメージして、演習することができました。また、チーム医療の重要性を実感しました。

43：1回目の反省を活かして、2回目の方がスムーズに行うことができた。

チーム医療の大切さや、ミーティング、声かけ、第3者の重要性を学ぶことができた。
今回の演習を忘れず、今後もしパンデミックや災害がおきた時に活かしていきたい。

44：実際にパンデミックドリルを体験して、自分がどのように動けば良いのか、スムーズに動くにはどうすれば良いのか自分の役割を認識し、役割を分担したり、することも大切で、チームで協力して考えながら動くことは大切で、優先順位を決めることも大切だと思いました。混乱して、バタバタしてしまいがちですが、こういう時にこそ、落ち着いて行っていくことが大切だと思いました。

短い時間でしたが、様々なことを感じ学ぶことができました。

ありがとうございました。

45：感染技術 1年次に習ったことを再確認することが出来、ガウンの外し方が、こうやればしっかりとたためるんだということを学びました。

演習 4人で協力してでき、今自分に何を求められるのかを認識しながら行えた。

46：チームワークの重要性を強く感じる事ができた。またいろんな職種が役割を果たす重要性も知った。

感染予防について、基本的なことをもう一度みなおすことで今後の感染予防への取り組みがさらによくなることを感じた。今日の貴重な体験を今後に活かしていきたい。

47：演習は、説明を聞いてもよくわからなかったです。でも、実際に動くことで理解できました。各職種で実施できる内容が違うので、コミュニケーションやリーダーシップの必要性がとてもよくわかりました。

楽しく学べるので、全員経験できるといいと思いました。

48：一度演習（授業）でも行ったが、もう一度行うことで、さらに理解を深めることができた。実際、このような感染がおきたら・・・と考えると、自分がどのような事をすればよいのか、常に考えておく必要があると思った。

49：技術 意外と、普段気にしないで行っていたことも、小さな感染経路になってしまうのだと思いました。基礎の授業でやったことの復習になりました。

演習 最初は、がむしゃらにやっていただけだったのですが、ミーティングを通し、よく動きました。優先順位とチームワークが大切だと思いました。

50：演習ではとても混乱した中でも、チームで協力し声かけを行いながら、優先性を考え行うことができました。感染防御技術では、アルコールでの手指消毒のメリットについて学び、また、正しい手洗いについても改めて確認することができました。

5 1 : 実際にやってみることで理解が深まった。
良い体験ができた。ありがとうございました。

5 2 : 今日の演習で混乱時、いかに自分の役割を考えて、チームと協力して動くかどうかでスムーズに患者を見ることが出来るのか、ということが分かりました。
チームワークと言葉でいうだけでは理解できなかったことが実際に動くことによって初めて人ともチームワークがとれて良かったです。

5 3 : 実際に、演習を実施することで、災害時におけるイメージがしやすいと思いました。
演習を重ねていくたびに、必要とされる技術が明確になり、リーダーシップやチーム医療の重要性を理解することができました。
感染防御技術は、実習で実施したことがありましたが、現場で教わった方法（技術）は、統一されていないことも多く、根拠を正確に理解し、実施していくことが大切だと思いました。ご指導ありがとうございました。

5 4 : 実習ではこういった演習や体験をすることができないので、大変勉強になりました。
チームワークの重要性やコミュニケーションの必要性を強く感じました。また医療従事者としての責任も改めて実感することができました。今後も学びを深めていきたいと思えます。本日はご指導ありがとうございました。

5 5 : 一度感染については演習や講義を通して学んでいましたが、忘れていた部分や意識してしていないことが多かったので、今回のパンデミックドリルで重要性を学ぶことができてよかったです。

5 6 : 実践に近い状況がわかり、もっとしっかりとした連携やコミュニケーションが必要であると思いました。今後に生かして、自分も対象も安全であるよう心がけていきたいと思えます。

5 7 : 医療者との連携の重要性や判断力の大切さがとても良く分かりました。今回は演習ですが、実際はもっと大変なものだと思うと恐いです。

5 8 : 感染防御の重要性を改めて学ぶことができました。しっかりと感染防御を行うことが患者さんだけでなく、自分達の身を守ることにもつながっていることを強く感じました。
演習でもチームワークの大切さや自分の役割をしっかり認識することで、効率的に医療を提供できるのだと感じました。

59：リーダーシップをとり、お互いに声に出して行うことでスムーズにできることを学ぶことができました。

60：声かけの重要性やリーダーシップの必要性、各役割の責任の重さが分かりました。とても貴重な体験が出来ました。今後に生かしたい。

61：一度に多数の患者が来院し、病棟がいかに混乱するかということがわかりました。日頃チームを組んでいない医療従事者とチームを組むことも予測されその中でいかに早くチームワークを築き、またリーダーシップをはかれる人を確立していくかが大切だと思いました。

62：今日の演習を通して普段勉強を通して理解してきたことを演習で再学習でき、その必要性や行い方が明確に勉強できました。今後、実習や臨床でも今日の体験を忘れず行っていきたいです。

63：実際に演習をやって、1回目は混乱することがたくさんあり、バタバタしてしまいましたが、そのあと、チームで話し合い、どうしたら良いか考え実施したところ、1回目より2回目の方がたくさん声をだし、スムーズに作業が行えました。感染防御技術では、実習でも役立つので、これから生かしていきたいと思います。

64：わかりやすい内容や説明でした。そして改めて手洗いやガウンの難しさを学びました。

65：実際の現場では、こんな感じの状態になるのかなというだいたいのイメージが感じられた。演習では、トリアージタグなどがなく、自分達で処置の優先度を判断していかなければならなかったのが、混乱しそうになったが、それぞれのメンバーとコミュニケーションをとって連ケイする事で、スムーズに進められることも学べた。今回のパンデミックドリルは、貴重な体験ができたと思います。

66：患者の優先順位の必要性や他職種との連携を学ぶことができた。またリーダーシップをとる人がいることでチームワークが発揮することができるということがよくわかった。今回の学びをこれから現場にて役立てていきたいと思う。

67：普段の実習で行っていたことの順番が違ったりしたので正しい手順で感染防御を覚えてこれから生かしていきたいと思いました。

68：2回実施し、1回目はチームプレーができなかったため効率悪かったが、2回目は声をかけ合いやることで効率が上がった。お互いに協力し合い行うことの重要性を理解できた。

69：感染防御技術は、成り立ちや、基本から改めて学ぶことが出来、良かったと思う。演習は、1回目はやり方が分からなかったが、相談を行うことにより、2回目がスムーズに行うことが出来、役割の確認や声かけにおける、チームワークの重要性が学べたと思う。

70：頭で理解していても、実際に行う事ができなかつたりするので、このような体験をする事で、今後活かせると思いました。

71：初めは、何をして良いのかわからず、4人がバラバラの行動をとっていましたが、役割を確認し、だれが何をするのか、誰が何を優先するのかを話し合い、2回目の方が多くの患者さんを助けられたと思います。

又、私たちのチームではリーダー（責任者）がいなかったため、その分のチームワークの悪さはあったと思います。実際に医療行為を行ったわけではありませんが、どう動くのか何が必要なかを考える良い演習だったと思います。

ありがとうございました。

72：大変勉強になりました。

今後もこういった学習の機会があればいいと思います。

ありがとうございました。

73：練習をすることで自覚をもって感染防御につとめる意識がめばえると思いました。

74：チームワークの大切さ、声かけなどを学びました。

75：周りと声をかけあって出来た。

協力性を学ぶことが出来た。

76：実際にこのような状況になったときに、どう動いてよいのかイメージもわからなかったが、この演習を通して、感染防止の方法や自分の役割を理解して動かないといけないこと、チームワークが大切であることなどを体験できたので、混乱を少しは防ぐことが出来ると思いました。

ありがとうございました。

77：実際に自分達で動いてみて、現場の混乱や、優先順位の位置付け、チームワークの重要性リーダーシップなどの重要性がよくわかりました。

ありがとうございました。

78：面白い体験でした。

一度このような事を経験するのと、しないのではもしもの時の動きも変わってくると思います。なので、今日の経験は良かったと思います。

79：実習で実際にMDRPの患者さんを受け持っていたので、より、感染防御の必要性を痛感できました。また、パンデミックドリル演習によって、チームワークの必要性も理解することができた。

80：後半の演習では、本当にチームワークの重要性を学ぶことができた。役割分担を明確にすることによって全体の動きがスムーズになり、声かけを行いながらやることによって医師もスムーズに動くことができたと思う。

81：すごく良い経験ができました。

82：感染防御技術演習はとても役に立ちますが、できれば実習に入る前の方がよかったかなって思いました。(実習中にビニールエプロンのつけ方、取り方がわかっていなかったのも)

83：実際に自分で動くことで、声かけや役割分担の重要性を実感することができたと思います。

84：このような演習を行うことで、机上では学べないことを、体を使って学ぶので、理解がしやすいと思いました。定期的に行ったほうが、インパクトがあって覚えやすいと思います。

85：良かったと思います。勉強になったので、できれば定期的に行ってもらえたら良いと思います。ありがとうございます。

(資料4) パンデミックドリル参加者の自由記述式アンケート結果分析

パンデミックドリル自由記載アンケート集計 (医学部3年)

アンケート内容を分析 (85名)

肯定的意見		票数
1	コミュニケーションの重要性に気づけた	20
2	役割分担の重要性が良く分かった	20
3	チームワークの重要性を実感することができた	19
4	体験できて良かった (有意義)	16
5	パンデミックの状況をイメージすることができた	15
6	感染防御技術の重要性がわかった (身についた)	14
7	優先順位の重要性に気づけた	9
8	(すごく) 楽しかった (面白かった)	8
9	資源を最大限有効的に使うよう、意識してチーム医療を行った	7
10	今後もやって欲しい	7
11	カンファレンスが大切だと思った	7
12	コミュニケーションを意識することで作業の効率化ができることを理解できた	7
13	感染防御技術が理解できていないことがわかった	6
14	この経験を活用したい	5
15	有用な演習だと思った	5
16	職種の仕事の範囲を考慮することの重要性に気づけた	4
17	医師以外の職種の重要さがわかった	3

18	チーム医療の重要性を学べた	2
19	臨床前の授業として最適であった	2
20	人材の有限性と、人材の不足時の対処の仕方が分かった	2
21	リーダーシップについて学ぶことができた	2
22	医師がリーダーシップを取ることの重要性がわかった	2
23	看護師の重要性に気づけた	2
24	マンパワーの重要さ、医療職不足について気づくことができた	2
25	臨床現場を理解しやすかった	1
26	職種間の信頼の重要性に気づけた	1
27	判断力の重要性に気づけた	1
28	それぞれの職種が大事だとわかった	1
29	視野を広く持つことの重要さに気づけた	1
30	半日のみのプログラムであったことが良かった	1
31	普段意識していないことの大切さに気付かされた	1
32	共通の目的を持つことの重要さがわかった	1
33	体験型の為、机上より印象に残った	1
34	医療現場の雰囲気に触れることができ、良かった	1
35	計画性の大切さがわかった	1
36	I C Uが満床になることがあることがわかった	1
37	メンバーによって、医療行為がスムーズになる時とならない時があることが	1

	わかった	
38	医学を学ぶ動機づけになった	1
39	実習1つで多くのことが学べた	1
40	医師の仕事の多さについて学ぶことができた	1
41	患者の精神状態を働きながら学ぶべきだと感じた	1
42	自分の認識と行動との間に差があることに気づけた	1
43	病棟間の連携、協力の大切さがわかった	1
44	看護助手はやれることが少なくて歯がゆかった	1
45	患者の心身両方のケアができる医師である必要があることがわかった	1

否定的意見		
1	I C Uに搬送することをためらい、死なせてしまった	1
2	実際には大勢の人間とコミュニケーションをとるのは難しいと思う	1
3	疲れた	1
4	2回目はやる気がなくなった	1
5	治療に効果があるのかがわからない	1
6	優先順位が難しかった（酸素不足と食事栄養はどちらが重要か？→教えて欲しい）	1

改善して欲しい項目		
1	教室は安全の為広い方が良い（⇔狭いから忙しさは伝わった）	4
2	I C Uや死亡になるルールを決めて欲しい	3
3	処置の回数で（枚数で）評価できるともつといい（死亡は何枚以上等）	2
4	I C Uに搬送するにはある程度患者に重みがあるとよかった	2
5	職種を変えても演習をやりたかった（全ての職種をやってもよかった）	2
6	フラッグが無くなることは退院だと思った	1

7	他の班がやっているところを見たい	1
8	模擬患者を実際の人で充ててみてはどうか	1
9	医師の診察は一度に何人も診れるといい（現場でも重症度のランク付けはすぐに行っている	1
10	一度に一つしか行為ができないのがもどかしい	1
11	資源の補充ができる機の置き方に工夫して欲しかった	1

パンデミックドリル自由記載アンケート集計（医学部2年）
アンケート内容を分析（71名）

肯定的意見		
	パンデミックドリル	票数
1	パンデミックの混乱時の状況を理解することが出来た（恐ろしさも感じた）	23
2	体験できて良かった	17
3	コミュニケーションの重要さに気づけた	9
4	楽しかった	6
5	役割分担の重要性に気づけた	6
6	チームワークの重要さ、難しさに気づけた	4
7	体力が大事だとわかった	3
8	チーム医療の重要さに気づけた	3
9	指導系統の重要さが実感できた	2
10	医師の重要さがわかった	1
11	1年次にやりたい	1
12	判断力の重要さに気づけた	1
13	統制力の重要さに気づけた	1
14	出席を厳しくすると、より良い演習になると思う	1
15	改善点をチームで共に考えることの大切さを感じた	1
16	部活は医師の仕事に役立つと感じた	1
17	チームの重要性に気づけた	1
18	役に立った	1
19	緊張感が持てた	1
20	動機づけになった	1
21	看護師の重要さがわかった	1
22	チーム医療が最高の形で力を発揮するためには何が大切なのか考えることができた（実感できた）	1

23	パンデミック時に、どのように対応したらよいのか考えることができた	1
24	より一層感染対策に関する知識と意識を持つようにしていきたい	1
25	パンデミック時には、医療ミスも増えそうだと感じた	1
26	パンデミックドリルの前後に臨床を見学したい	1
27	死亡、ICUの指示は現場の深刻さを伝え、焦ってしまった	1
28	優先順位の重要性に気づけた	1
29	ICUが満床の時に、交渉が必要なことに気づけた	1
	感染防御技術	
1	正しい幹線防御技術を身につけることができた	3
2	感染防御技術が実用的で良かった	2

否定的意見		票数
	パンデミックドリル	
1	ドリルを行う時期を考えて欲しい（試験の直前だった為）（1年がいい：2、3年 or 1年がいい）	6
2	沢山治療できたチームに褒美をあげるとよりやる気が上がる	1
3	医師だけでなく看護師もパンデミック時には死亡判断ができるのではないか？	1
4	患者が紙だったので感じなかったが、もし医療職が大声で走り回っていたら患者さんは怯えてしまうと思った	1
5	ゲーム感覚すぎた	1
6	現実味はあまりなかった	1
7	スタッフが札を入れているのを忙しい時に見てしまうと、冷めてしまった	1
8	ドリルの趣旨が理解できなかった	1
9	他の事に研究費をかけた方がいいと思う	1
10	班ごとに演習した結果を集計して欲しい	1

パンデミックドリル自由記載アンケート集計（看護学校3年）
アンケート内容を分析（85名）

肯定的意見		票数
1	声かけ、チームワーク、優先順位について学ぶことができた	48
2	パンデミック時の混乱についてイメージすることができた	18
3	パンデミックドリルの演習が体験出来てよかった	13
4	感染防御の重要性を学べた	12

5	感染防御技術についてよく理解できていなかったことがわかった	5
6	感染防御技術が理解しやすかった	4
7	パンデミック時における医療行為の判断について学べた	3
8	医療職としての責任について学ぶことができた	3
9	人的資源の重要性に気付けた	1
10	感染防御技術と安全について学ぶことができた	1

否定的意見		票数
1	症状に対する治療法まで演習をできる可能性を感じた	2
2	チーム毎にどれくらい対応できていたのかの評価も知りたかった	1
3	ICUの受け入れ基準がわからなかった	1
4	ゲームとして考え、効率を考えてしまった。	1
5	感染防御技術は実習前にやりたかった。	1
その他		
1	定期的にドリルをやりたい	2

(資料 5)

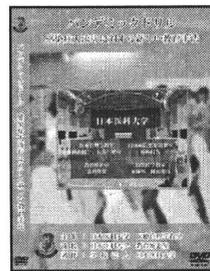
プログラム普及活動一覧

秋山健一

普及活動② - プログラムの普及活動-

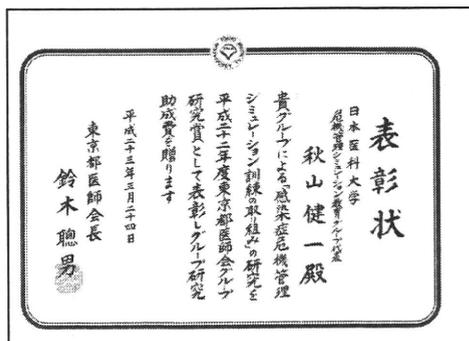
(ナーシングカレッジ)

(日本医科大学医学雑誌)



プログラムのDVD作成
関係機関への発送

他：
「平成22年度 東京都医師会グループ研究賞」受賞



(資料 6)
分担研究報告

長谷川敏彦
秋山健一